

# 2017年3月期 決算説明会

---

**ジオマテック株式会社**  
create coating solutions

2017年 6月1日

# 2017年3月期業績結果について

# 業績概要《連結》

単位：百万円

	2017/3						2016/3
	実績	計画	計画比		前年同期比		実績
			増減金額	増減率	増減金額	増減率	
売上高	8,598	8,450	148	1.8%	▲1,027	▲10.7%	9,626
営業利益	145	0	145	—	243	—	▲97
営業利益率	1.7%	0.0%	—	—	—	—	▲1.0%
経常利益	224	60	164	273.3%	236	—	▲11
親会社株主に帰属する当期純利益	▲2,266	▲2,450	184	—	▲2,305	—	39
1株あたり当期純利益(円)	▲286.51	▲309.72	24.02	—	▲289.39	—	4.95
加工高	7,093	7,000	93	1.3%	▲783	▲9.9%	7,876

※加工高とは、売上高から基板材料費と外注加工費を差し引いた、成膜分の売上(付加価値収入)のことです。  
尚、加工高は、当社の管理数値として使用しているもので会計数字とは必ずしも一致しません。

単位：百万円


<b>土地売却益</b>	東京都品川区（駐車場用地）	<b>532</b>
<b>設備減損</b>	金成工場・赤穂工場（機械装置、建物及び土地等）	<b>3,031</b>
	(内訳)	
	建物及び構築物	<b>(782)</b>
	機械装置及び運搬具	<b>(1,773)</b>
	土地	<b>(466)</b>
その他	<b>(9)</b>	

## 市場環境

1. スマートフォン、タブレット端末市場は全体として需要が鈍化、  
また、一部のスマートフォンメーカーの動向に左右される状況で推移
2. 中小型FPD向けに日本メーカー、韓国メーカー間での競争激化
3. カーナビゲーション用タッチパネルは抵抗膜式から静電容量式へ需要がシフト



2017年3月期の市場環境は厳しい状況で推移



FPD用基板製造設備を中心に減額処理を実施  
減価償却費減少により収益改善

# 財務概要

単位:百万円

	2017/3	2016/3	増減
<b>流動資産</b>	25,068	20,428	4,640
現金・預金	8,595	8,688	▲ 93
受取手形・売掛金	13,668	9,335	4,332
たな卸資産	1,699	1,562	137
その他	1,105	841	263
<b>固定資産</b>	5,832	9,505	▲ 3,673
有形固定資産	3,711	7,508	▲ 3,797
無形固定資産	155	159	▲ 3
投資その他	1,964	1,837	127
<b>合計</b>	<b>30,901</b>	<b>29,934</b>	<b>966</b>

	2017/3	2016/3	増減
<b>負債</b>	14,623	11,056	3,567
支払手形・買掛金	11,794	6,949	4,845
借入金等	2,029	3,105	▲ 1,075
その他	798	1,002	▲ 202
<b>純資産</b>	16,277	18,878	▲ 2,600
株主資本	15,861	18,365	▲ 2,503
その他の包括利益累計額	416	512	▲ 96
<b>合計</b>	<b>30,901</b>	<b>29,934</b>	<b>966</b>

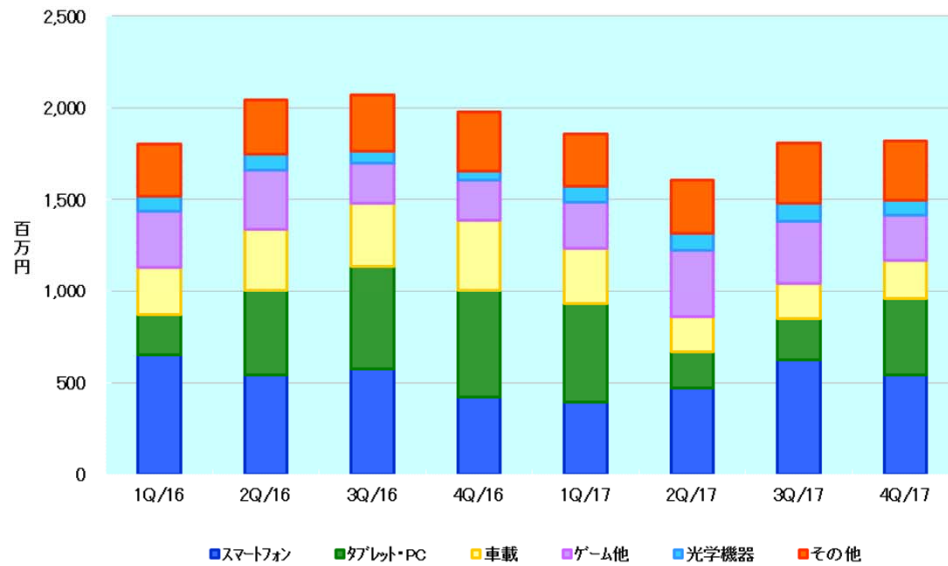
自己資本比率	52.7%	63.1%	—
1株あたり純資産 (円)	2,057.80	2,386.49	▲ 328.69

# キャッシュフロー概要

単位:百万円

	2017/3	2016/3	増減
<b>営業活動によるキャッシュフロー</b>	1,231	843	388
税金等調整前四半期純利益	▲ 2,250	49	▲ 2,300
減価償却費	796	1,052	▲ 256
売上債権の増減額(▲は増加)	▲ 4,359	2,856	▲ 7,216
仕入債務の増減額(▲は減少)	4,864	▲ 2,967	7,832
その他	2,190	▲ 148	2,338
<b>投資活動によるキャッシュフロー</b>	314	▲ 1,766	2,081
固定資産の取得による支出	▲ 501	▲ 1,404	902
その他	815	▲ 362	1,178
<b>財務活動によるキャッシュフロー</b>	▲ 1,313	▲ 274	▲ 1,039
配当金の支払額	▲ 237	▲ 237	0
その他	▲ 1,075	▲ 36	▲ 1,039
現金等に係る換算差額	▲ 78	▲ 49	▲ 29
現金等の増減額(▲は増加)	153	▲ 1,247	▲ 1,401
現金等の期末残高	9,495	9,341	153
<b>設備投資額</b>	428	1,131	

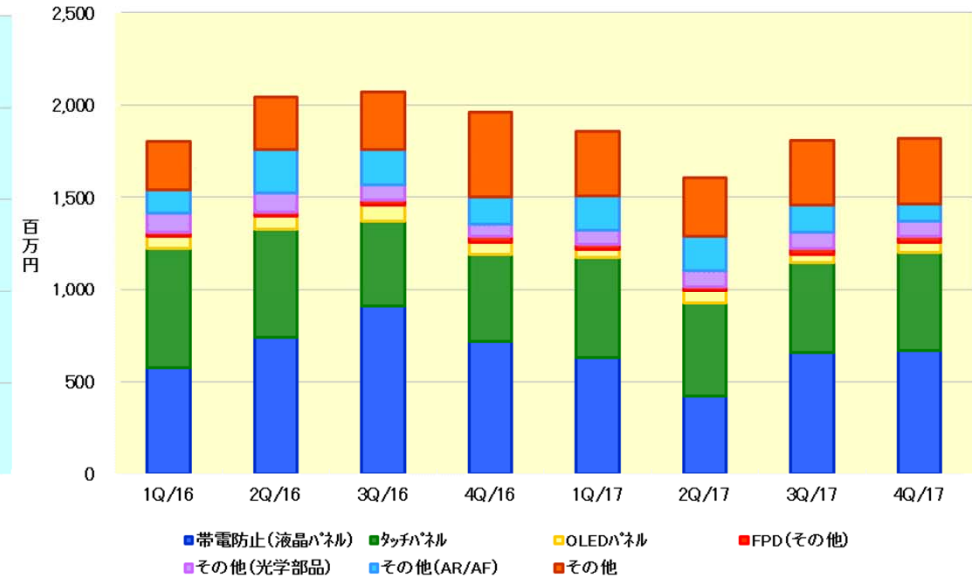
## 最終製品別加工高推移



← 16.03期実績 →

← 17.03期実績 →

## 品目別加工高推移



← 16.03期実績 →

← 17.03期実績 →

※加工高とは売上高から基板材料費と外注加工費を差し引いた成膜分の売上(付加価値収入)のことです。



**液晶パネル用基板(帯電防止膜) (前期比 80.7%)**

米国メーカータブレット端末向け 需要低迷により大幅な減少

米国メーカースマートフォン向け 新機種需要により安定推移

中国メーカースマートフォン向け 需要低迷により大幅な減少

**タッチパネル用基板(抵抗方式) (前期比 57.4%)**

カーナビゲーション向け 需要環境変化により減少

**タッチパネル用基板(静電容量方式) (前期比 113.7%)**

スマートフォン向け パネル一体型が増加

カーナビゲーション向け増加

**有機EL用基板 (前期比 75.7%)**

照明機器向け減少／試作検討用案件増加

**その他 (前期比 101.3%)**

試作検討用案件増加

# 2018年3月期業績見通しについて

# 2018年3月期業績見通し

	2018/3					2017/3
	通期計画	H1計画	H2計画	前年同期比		実績
				増減金額	増減率	
売上高	8,500	4,200	4,300	▲ 98	▲ 1.2%	8,598
営業利益	300	130	170	155	206.9%	145
営業利益率	3.5%	3.1%	4.0%	—	—	1.7%
経常利益	320	140	180	96	142.8%	224
親会社株主に帰属する当期純利益	310	135	175	2,576	—	▲ 2,266

加工高	6,900	3,450	3,550	▲ 193	▲ 2.8%	7,093
研究開発費	400			▲ 1	▲ 0.0%	401
設備投資額	450			22	5.1%	428
減価償却費	450	200	250	▲ 346	▲ 43.5%	796

※加工高とは、売上高から基板材料費と外注加工費を差し引いた、成膜分の売上(付加価値収入)のことです。  
尚、加工高は、当社の管理数値として使用しているもので会計数字とは必ずしも一致しません。

## 競争環境における脅威

1. スマホ需要の成熟と低価格化
2. OLEDの本格採用

## 競争環境における機会

1. 車載向け薄膜加工案件の増加
2. OLED向けタッチパネル需要の増加



**方針: 車載向けとLCD以外の製品・分野への販売促進と技術開発力の強化**

### <参考: スマートフォン需要>

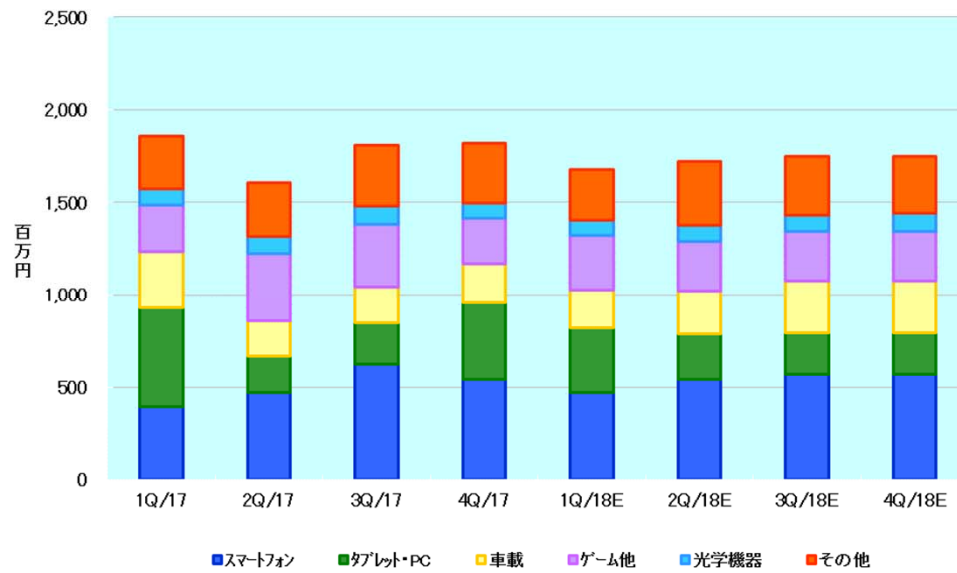


### <参考: OLEDの生産ライン一覧>

稼働開始時期	メーカー	工場	世代	生産能力(万枚/月)	
				2016年4月	最大
2011年2Q*	韓国 Samsung Display社	タンジョン	G5.5	13	15
2012年2Q*	台湾 AU Optronics社	新竹	G3.5	2	2
2013年3Q	韓国 LG Display社	グミ	G4.5	1	1
2014年2Q*	中国 BOE Technology Group社	オルドス	G5.5	2.5	4
2014年3Q*	韓国 LG Display社	パジュ	G8.5	3.4	6
2015年2Q*	韓国 Samsung Display社	タンジョン	G6	1.5	18
2015年2Q	中国 EverDisplay Optronics社	上海	G4.5	1.5	1.5
2016年3Q*	中国 Truly社	惠州	G4.5	0	3
2017年1Q	韓国 LG Display社	グミ	G6	0	1.5
2017年1Q	中国 Tianma Micro-electronics社	上海	G6	0	3
2017年2Q	中国 BOE Technology Group社	成都	G6	0	4.8
2017年3Q*	韓国 LG Display社	グミ	G6	0	9
2017年4Q*	中国 Tianma Micro-electronics社	武漢	G6	0	3
2018年2Q*	韓国 LG Display社	パジュ	G10.5	0	12
2018年2Q	シャープ	堺	G6	0	4.8
2018年3Q	ジャパンディスプレイ	茂原	G6	0	2.5
2018年	中国 EverDisplay Optronics社	上海	G6	0	6
2018年	中国 GVO社	昆山	G6	0	3

# 加工高見通し

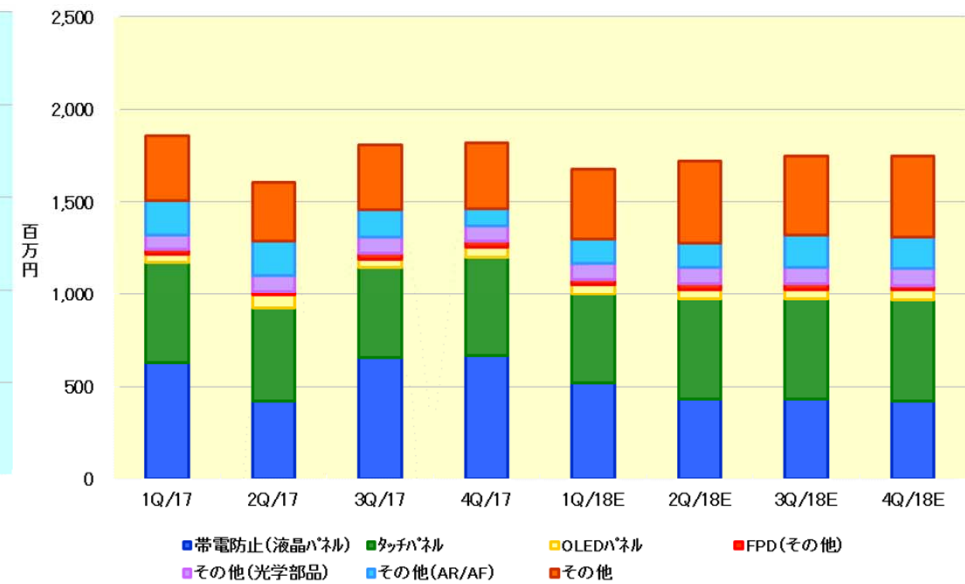
### 最終製品別加工高推移



← 17.03期 実績 →

← 18.03期 計画 →

### 品目別加工高推移



← 17.03期 実績 →

← 18.03期 計画 →

※加工高とは売上高から基板材料費と外注加工費を差し引いた成膜分の売上(付加価値収入)のことです。

薄膜技術の応用を液晶産業一極からあらゆるものづくりへ

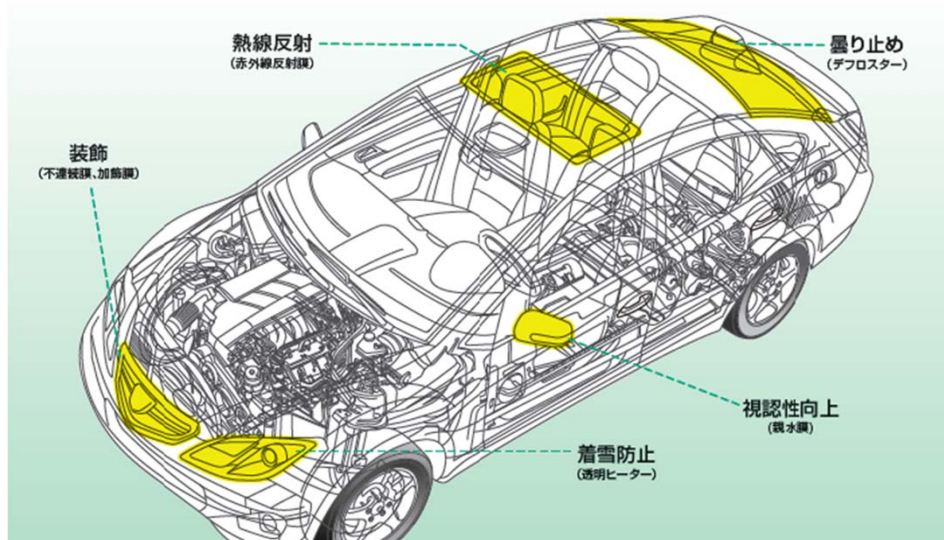
## 既存事業へのアプローチ

- ・汎用性の高い(半)自動化による生産性の向上と低コスト化
- ・IT化による情報共有と意思決定の処理のスピード化

## 新規事業へのアプローチ

- ・高付加価値製品(ニッチトップ)群増大によるポートフォリオの変革
- ・FPD産業以外への販売促進策への投資
- ・薄膜+ $\alpha$ の周辺加工技術向上のための人財と設備への投資
- ・これら施策による試作生産能力と加工高の増強

## <参考:薄膜製品適用例 エクステリア>



## <参考:薄膜製品適用例 インテリア>



ご清聴いただき、ありがとうございました